

令和7年度 事業所における自己評価総括表（ドットジュニア長沼原第1教室（放課後等デイサービス・児童発達支援））

子ども家庭庁が定める「放課後等デイサービスガイドライン」「児童発達支援ガイドライン」に基づいて、さらに強化・充実を図るべき点（事業所の強み）や、課題や改善すべき点を整理・分析しています。この自己評価総括表をもとに、業務・サービスの資質向上や改善をしていくことを目的としています。

<保護者アンケート調査時期：R7/11/17~R7/12/5> <職員アンケート調査及び検討時期：R7/11/17~R7/11/25>

強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所は開所から5年を迎えることができ、保護者様・各関係機関とも情報共有や連携が取れている。 ・職場環境について、支援内容についての振り返りが日々行えいていて、課題や意見についても出しやすい環境だとクルー全員感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資質向上のための研修が年内に数回計画されており、定期的に学ぶ機会が設けられています。 ・日々の保護者様との日常の連絡だけでなく、ご要望・ご意見についても傾聴ししっかりと対応しています。また個別支援計画へ反映されていて支援が実施できています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで積み上げてきていることを崩すことが無いよう、日々行うべきことを着実に取り組めます。
<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の発達段階や特性を把握し、配慮した支援ができています。 ・活動の目的やねらいを意識したプログラムを作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様一人一人の発達段階を把握し、今必要な支援は何かを考えて支援を実施しています。またそのことについて職員間で共有ができています。 ・ドットジュニアにおける「5つの療育クラス」に基づき、毎月クルー全員でプログラム案を出し合い、お子様が楽しく参加できる内容を実施できるように工夫しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムについては、お子様から人気があり、楽しみにもしているお出かけやおやつ作りなどのプログラムを多く取り入れることができるように考えていきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画に沿って、研修が実施されている ・災害時に備えた避難訓練が実施されている 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は毎月1回、集団療育プログラムにおいて実施しており、災害に備えて定期的に行っています。 ・けが対応フローチャートに基づき、どの職員であってもすぐに報告・連絡・相談が行える体制を整えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点で使用しているマニュアル等を周知し、安全面の向上に繋げていきます。

<p>弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること</p>	<p>拠点として考えている課題の要因等</p>	<p>改善に向けて必要な取り組みや工夫が必要な点等</p>
<p>・地域での他の子どもたちとの交流や仲間づくりの活動機会が少ない。</p>	<p>・お出かけ先では行く場所が決まってしまうと、お出かけ先候補のバリエーションが少ない。また拠点で提供する場所とお子様に興味を持っていること(公園遊び)にズレがあり、公園へのお出かけが多くなっている。</p> <p>・お出かけ先を考えるうえで、移動距離、施設などの利用料金、駐車場がある場所、トイレがある場所がすべてクリアできる場所を探すのがネックとなっている。</p>	<p>・近隣や地域で行われるイベント実施の情報を収集し、プログラムに取り入れられるようにしていきます。</p> <p>・自教室だけではなく他の教室と一緒にできるイベントを考えて取り入れられるようにしていきます。</p>
<p>・保護者やご家族が教室の様子を見学できる参観日を実施ができていない。</p>	<p>・今までにも支援中の見学を保護者様に実施したことがありますが、大人数での見学や参観日となると、お子様が興奮したり、逆に緊張をして普段通りの様子を見ていただけなる恐れがある。</p> <p>・参観日の案内や保護者対応に人員を割きすぎると、安全面や直接的な支援が手薄になってしまう。</p> <p>・保護者様が車で来訪された場合の駐車場が複数台数分確保できない。</p>	<p>・特定の日を「参観日」と決めるのではなく、今週のこの時間で例えば2組見学いただけますという枠をいくつか作り、個別に申し込みができるようにするなど考えていきます。</p> <p>・実際の支援を見学いただくだけでなく、「家族会」のような場を設けることも検討していきます。</p>